

(別表)

○学校全体での取り組み

伊勢崎市立三郷小学校

		児童にかかわること	保護者にかかわること(学校→保護者→子ども)
(1) いじめの未然防止に関すること		<ul style="list-style-type: none"> ○世の中にはいろいろな考えをもっている人がいることを理解させる。 ○「人権教育学習」「心のノート」等の資料を活用して道徳教育の充実を図る。 ○正しい判断力(自己指導能力)を身に付けさせる。 ○自分や友だちのよさに気付かせ、自己肯定感を育成する。 ○進んで奉仕体験活動に取り組ませる。 ○セーフティ教室や学級活動の時間を活用して、インターネットの危険やモラルについて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族の中で、愛情をかけて育てられたことを積極的に伝えるようにする。 ○自分の物や他人の物を大切に扱うように育てる。 ○友達の気持ちを踏みにじったり、傷付けたりすることの重大さを日ごろから子どもに伝える。 ○地域での様々な体験を通して、集団の一員としての自覚や自信を育ませる。 ○携帯電話やパソコン、ゲーム機等でインターネットを使うルール作りを行う。
(2) いじめの早期発見に関すること		<ul style="list-style-type: none"> ○担任だけでなく、全教職員がアンテナ高く見守る。 ○子どもが集団から離れて一人で行動している時は、声をかけて話を聞く。 ○個人面談やアンケートを実施したり、休み時間や放課後などを利用したりして、児童から情報を収集する。 ○上履き・机・椅子・学用品・掲示物などにいたづらがあつたら直ぐに対応し、原因を明らかにする。 ○スクールカウンセラー等の相談窓口を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもとの会話をできるだけ多くし、サインを見逃さないようにする。 ○服装などの汚れや乱れに気を配る。 ○子どもの持ち物に気を配り、なくなったり、増えたりしていないか観察する。 ○悩みは何でも親に相談できるような雰囲気や、普段から作っておく。
(3) いじめの早期対応に関すること	① いじめの行為が確認しやすい場合	いじめられた側	<ul style="list-style-type: none"> ○わが子を守り抜く姿勢を見せ、子どもの話に耳を傾け、事実を確かめ、心情を聞くようにする。 ○正確な情報に基づき、いじめの解決を学校と連携して進める。 ○いじめの問題解決に向けた学校の方針を理解し、協力してもらう。
		いじめた側	<ul style="list-style-type: none"> ○学校は、いじめられた子どもを守ることを第一に考えた対応をとることを伝える。 ○事実を冷静に確認し、わが子の言い分を十分に聞き、いじめの事実や自分の内面と向き合わせる。 ○被害児童、保護者に対して、適切な対応(謝罪等)をするように伝える。
	② いじめの行為が見えにくい場合	いじめられた側	<ul style="list-style-type: none"> ○わが子を守り抜くという姿勢を子どもに見せるように伝える。 ○情報を収集し、いじめの解決を学校と連携して進める。 ○いじめの問題解決に向けた学校の方針を理解し、協力してもらう。
		いじめた側	<ul style="list-style-type: none"> ○学校は、いじめられた児童を守ることを第一に考えた対応をとることを伝える。 ○事実を冷静に確認し、わが子の言い分を十分に聞き、いじめの事実や自分の内面と向き合わせる。 ○今後の対応について、学校と連携するよう伝える。
直接関係のない児童		<ul style="list-style-type: none"> ○傍観することはいじめに荷担することと同じであることを考えさせ、いじめられた児童の苦しみを理解させる。 ○友達の言いなりにならず、自らの意志で行動することの大切さに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめに気付いた時、傍観者とならず、助ける側の態度をとることができるような子どもに育てる。 ○いじめに対する考え方を理解してもらい、どんな場合でもいじめの側や傍観者にはなってはならないという気持ちを育てるように伝える。

○地域・家庭との連携

①各家庭での取り組み(啓発活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の子どもに関心をもち、子どものさびしさやストレスに気付くことのできる親になる。 ○ダメな時は「叱ることのできる親に!」、頑張った時は「褒めることのできる親に!」を合い言葉に、コミュニケーションを意識する。 ○父親の存在が大きく影響することを伝え、母親任せにしないで父親も子育てに参加する。 ○携帯電話やパソコン、ゲーム機等を使うルールを保護者と本人とで話し合って決める。
②地域での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちを「地域の宝」として育てる意識を持ち、子どもたちに地域から見守られているという安心感をもたせるようにする。 ○子どもたちと顔見知りになるために、子どもたちに出会った時はあいさつや声かけをお願いする。 ○公園や遊び場などで子どもが困っている場面を見かけたら、積極的に声をかけていただく。